

広報

ひかわ

2016
No.126

4

H i k a w a

氷川町キャッチフレーズ [大地の恵み歴史の香り氷川町]

健

根

信



白球追って心を一つに
竜北少年野球クラブ・宮原小野球部

2 ひかわ Colors

3 もくじ

4 平成28年度施政方針

10 まちのトピックス！
 全国・九州大会出場者激励会／ひなまつり展／公民館大会・人権啓発集会／氷川町長寿表彰／高校生が薬師堂の天井画を製作／氷川町子ども会大会／吉野・野津に農事組合法人設立／空手競技で3位入賞／町内小中学校にイチゴ贈呈／町内中学校で卒業式

13 毎月15日は「あいさつ運動」一斉行動の日

14 すくーらいふ（宮原小）

16 4月カレンダー
 行事予定表／休日在宅医／まちへのホットライン／休日救急歯科医療

18 けんこうだより

19 こころの健康コーナー／認知症キャラバンメイトだより

20 軽自動車税の課税について

21 後期高齢者医療保険料のお知らせ

22 JICA海外ボランティアからの活動報告

23 ひかわスポーツクラブたより！！

24 立神峡だより

25 町民文芸

26 暮らしの情報

31 伝言板／ひとのうごき

32 ひかわっ子写真館／編集後記



ひかわColors

氷川町で頑張っている、町を彩る皆さんをご紹介します



Color 24

竜北少年野球クラブ 宮原小学校野球部

3月19日、町内小学校3校の野球部による合同練習試合が行われました。現在、竜北東小学校と竜北西部小学校の2校は、合同チーム「竜北少年野球クラブ」として活動していますが、各校の部員の減少により、今年度の4月から宮原小学校を含めた3校の合同チームで活動することとなりました。この日の試合は、3校の交流を図る目的で行われたもので、合同練習の後、卒業する6年生を中心としたチームと新5・6年生を中心としたチームによる2試合が行われました。両チーム共、随所に白熱したプレーを見せ、ベンチからも大きな声で応援し、全力プレーに保護者の応援も盛り上がりを見せていました。



▲白熱したプレーを展開

交流深め勝利へ

今後は、各校で練習をしながら、週1回の合同練習を行い、大会などにも出場する予定となっています。部員不足のため、大会に出場することが困難な時期もありましたが、試合をする喜び、勝つ喜びを味わってもらうことを現監督たちは期待されています。試合後はグラウンド整備をしながら、3校の選手同士が声を掛け合う姿が見られました。

学校を越えた交流により、野球少年たちの、さらなる活躍が期待されます。



▲試合を終え礼をする部員たち

ひかわColorsは今月号を
 持つて終了いたします。
 これまで取材にご協力いた
 だきありがとうございます。

ふるさとの未来を拓く挑戦の年

桜花らんまんの季節を迎え、皆さま方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

日本の経済情勢については、海外景気の下振れや金融資本・商品市場の動向などが先行きのリスクとして懸念されているものの、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続くことが期待されています。

このような中で国は、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」において、デフレから脱却し、中長期的に安定した経済成長を実現するために、経済の好循環の拡大、潜在的な成長力の強化、まち・ひと・しごと創生などの取り組みを進め、潜在的な成長力を高めていくことが経済の再生に必要としており、地方財源についても、平成30年までの地方の一般

財源総額は平成27年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとしています。

しかし、同時に国庫支出金などを見直すとともに、地方創生予算への重点化を行うことで地方創生の深化を図り、地方交付税制度においても、頑張る地方自治体を支援する算定を強化・支援するとして、歳出の効率化の取り組みを進めていく方針を打ち出しており、今後の動きを注視していく必要があります。

また、熊本県においては、財政再建戦略をはじめとした数次にわたる改革の推進により、県債の縮減と財政調整用4基金の増加の成果を得られているものの、国の方針に伴う地方財政および県財政への影響が不透明な状況にあることから、今後の国の予算編成および地方財政対策の動向などによつて

は、厳しい財政運営を強いられる可能性があると考えられています。

このような中、本町では各種計画に基づく行財政改革に積極的、継続的に取り組み、行政運営の効率化と財政健全化に一定の成果を上げてきました。

しかしながら、本町の平成26年度決算で見える歳入の状況は、依存財源である地方交付税が歳入総額77億9315万6千円の37.0%（金額にして28億8449万9千円）を占めている一方、自主財源の柱である町税はわずかに11.8%（金額にして9億1867万8千円）しかなく地方交付税や各種交付金に頼らざるを得ない財政状況となっており、今後もこの依存財源主体の歳入構造が大きく変化する要素は見当たりません。

本町においては、平成28年度が普通交付税の合併算定替の段階的削減の開始年度に当たることから、財政健全化に向けた取り組みを着実に実行するとともに、



財政規模に応じた適正な事業選択を行う必要があります。

このような国、県の政策や財政状況を踏まえて、平成28年度水川町一般会計予算につきましては、大幅な将来の歳入減を見据えた厳しく堅実な財政運営に向けて職員自ら創意工夫を図り、事務事業の徹底的な見直しや事業間の優先順位の厳しい選択を行う一方、将来に向けた町勢発展の礎を築くために重要と考えられる事業については、国・県の交付金などの活用を図り、必要な財源を確保することとし、徹底したコスト意識のもと

メリハリのある予算編成に心がけ、対前年比0.17%減の総額62億1483万1千円といたしました。歳入としては、町税・国・県支出金、地方消費税交付金が若干増加し、不透明な地方贈与税は横ばい、地方交付税は減少すると見込みました。

財源確保のために財政調整基金から繰り入れを行い、町債につきましては、必要最小限度に止めたとところでございます。

歳出では、総務費、民生費、農林水産業費、商工費を増額予算とし、議会費、衛生費、土木費、消防費、教育費を減額予算としました。水川町

販売戦略基本計画に基づく農産物販売戦略強化対策、いぐさ畳表生産体制強化支援対策事業、水川町農産物輸出促進事業をはじめ、農地の利活用調整、利活用状況調査などの農業委員会の機能充実を支援する機構集積支援事業および耕作放棄地解消緊急対策事業に取り組みすることとしています。

農業経営の安定化と農家負担の軽減を目的とした農業収入安定化事業についても、共済掛け金の助成率を補助金交付要綱どおり50%といたします。

アンテナショップである水産基盤整備交付金事業では、ハマグリ稚貝の放流および漁場の耕うんを継続して実施します。

農業基盤整備促進事業として、島地区排水路改

活力ある産業の振興

安定した生活基盤を確保するためには、基幹産業である農業・商工業に活力がなくてはなりません。

農業振興策としては、T P P交渉の大筋合意という現実を注視し、県南フードバレー構想との連携を図りつつ、足腰の強い持続可能な農業経営を図るために、各種生産組織および営農組織を中核とした組織型農業を推進するとともに、共同経営を視野に入れた集落営農組織ならびに担い手農家の育成を図ってまいります。

振興計画の基本理念に基づいた次の5つのまちづくり戦略を掲げ、議会の協力を頂ぎ、町民の皆さまと協働しながら、安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な水川町の実現に向けた積極果敢な町政の展開を行ってまいります。ご協力をお願いします。

農地集積加速化事業については、すでに農事組合法人として設立された「アグリ吉野」および「野津南」の取り組みを支援するとともに、モデル地区である鹿島地区の合意形成を推進してまいります。

い業機械再生支援事業についても、い業関連機械の維持管理費を支援することにより、生産機械の長寿命化を図ります。

新規就農総合支援事業、くまもと稼げる園芸産地育成対策事業および鳥獣被害



▲3月に設立した農事組合法人「野津南」

防止総合対策事業の国・県事業を積極的に活用し、新規就農者の支援、園芸作物農家の施設整備支援および鳥獣被害の防止を図ります。

水川町農業元気づくり支援事業は、トマトの遮光資材導入対策、牛異常産予防ワクチン補助事業、葉タバコ病害予防対策および露地野菜病害虫対策などの7つの事業を展開します。

また、継続事業として、戸別所得補償制度、経営体育成支援事業、水川町

多面的機能支払交付金事業につきましては、現在17地区で取り組まれておりますが、さらなる取り組み拡大を推進してまいります。

竜北地区の排水対策につきましては、県営湛水防除事業ですでに着手されており、熊本県とともに事業の推進に努力してまいります。

同じく新規事業として、若手後継者や創業予定者の経営力向上に向けたソフトウェアの支援を行うため、「若手後継者等育成特別推進事業」を創設します。

住宅リフォーム促進事業を継続して実施することとし、中小建築業者の支援と空き家対策としての地域環境の改善とともに町内商工業の振興を図ります。

ネット通販販路拡大事業、地域資源活用特産品開発、販路拡大事業を販売戦略商工会補助金として位置づけ、雇用の確保、商工会活動の支援と商工業者の経営革新を支援してまいります。

町単独のプレミアム付き商品券の発行につきまして、従来の補助率に戻すものは、従来より拡大して実施し、町内における購買力の向上を目指してまいります。

企業誘致活動につきましては、県企業立地課と連携を図りながら、その実現に向け、積極的に活動してまいります。

立神峡公園、まちづくり酒屋、竜北公園については、

氷川ツーリズム事業の一つの資源として位置づけ、相互に連携をとりながら、その活用を図ることとし、立神峡公園の老朽化したログハウスの改修を行います。

ウオーキング大会など、各種イベントにつきましても参加者増加への工夫を行うとともに、氷川町PR用ビデオを作製し、町外からの流入人口を増やし地域経済の活性化を図ります。

安心して暮らせる 福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという視点から疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保

療・介護・福祉の連携を図る包括的支援事業の拠点施設として位置づけ、地域包括ケアシステムの構築を図ってまいります。

健康予防、健診事業をさらに強化推進することとし、保健師および管理栄養士などの執務場所を現在の役場庁舎から健康センターに移し、町民の皆さまの健康相談および保健指導の利便性の向上と健康づくりの拠点施設としての活用を図ります。

併せて、健康センターで勤務していた氷川町地域包括支援センター事務所を宮原福祉センターへ移し、在宅医

社会福祉協議会が実施しているデイサービス事業については、基盤強化計画ならびに地域福祉活動計画に基づき、本年4月から竜北福祉センターに一本化して実施することといたしました。その背景には、民間事業所などの増加により、社会福祉協議会が実施するデイサービス利用者が減少していることと、一カ所で事業を実施することで、分散し

援事業、高齢者および障がい者住宅改造成事業などの継続事業をはじめ、障害者自動車運転免許取得・車輛改造成事業および難聴児補聴器購入費助成事業に取り組みすることとしています。

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画が策定されましたので、その計画を踏まえ町社会福祉協議会の改革と行政、民間施設、医療機関と連携を図り、地域で支える医療介護福祉の環境づくりを進めてまいります。

さらに、医療費の抑制と疾病予防のために、住民健診の受診率の向上と管理栄養士を活用し、保健予防活動を充実強化してまいります。

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画が策定されましたので、その計画を踏まえ町社会福祉協議会の改革と行政、民間施設、医療機関と連携を図り、地域で支える医療介護福祉の環境づくりを進めてまいります。



▲タブレット端末を使用した協働学習

人を育む教育の振興

継続事業として、町内小中学校にICT機器(電子黒板、タブレットなど)およびICT支援員を配備し、学習支援を行うことで教育環境を充実し、魅力ある学校づくりと学力向上を図ります。

また、県費教職員を指導主事として本町に配置し、教職員の授業力向上および

学級経営、生徒指導などへの指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニケーションスクールの取り組みを推進してまいります。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う要支援児童生徒教育支援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する学校支援地域本部事業も継続して

取り組んでまいります。特に要支援児童生徒支援員につきましては、本年度も10人体制で支援してまいります。

学校給食における地元食材の活用を図るための助成ならびに各学校の図書購入費は継続して上乗せ補助を行い、学校施設補修と教材備品の購入については、学校現場の要望を尊重して進めてまいります。

幼児期における質の高い



▲文化拠点としての役割が期待される八火図書館

保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画を策定しましたので、その計画に基づく事業を実行し、全ての子ども・子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指してまいります。

国指定史跡である野津古墳群ならびに大野窟古墳の保存管理と活用について、研究協議を行っておりますが、平成29年度末までに保存管理計画を策定します。

氷川町体育協会ならびに総合型地域スポーツクラブ「ひかわスポーツクラブ」の組織の強化と会員の拡大を目指して、相互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行うとともに、宮原体育館のトイレの一部を洋式トイレに改修します。



▲包括的支援事業・健康づくりの拠点へ

40歳・50歳・60歳を対象とした人間ドック受診費用女性を対象として、20歳の方の乳がん検診、40歳の方の子宮頸がん検診の無料化を継続実施いたします。

特定健診事業については、過去5年間の未受診者へ無料クーポン券を配布し、受診率の向上と健康管理の自己啓発を図ります。

少子化および定住促進対策として、中学3年生までを対象年齢とした医療費の無料化を継続して、子育て世代の支援を図ります。

ておりました介護職員を集中的に配置することにより、サービス内容と利用者への対応が充実するためであります。

インフルエンザ予防接種についても65歳以上および1歳から15歳を対象に助成を継続して実施します。

また、子育て世代の母親の精神的・身体的負担を軽減するため、産前産後ホームヘルプ事業を継続して実施してまいります。

高齢者および障害者福祉対策といたしましては、いきいきサロン事業、食の自立支

安全で快適な生活環境の まちづくり

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指して、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業を継続して取り組みます。

生ごみ減量化を目指した電気式生ゴミ処理機購入助成は、継続して実施することとし、新規に給食センター、宮原小学校、氷川中学校、常葉保育所の調理場に業務用生ゴミ処理機を導入し、ゴミ減量化を図るとともに、町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果を目指して、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を新たに実施します。

八代市が建設予定の新たな環境センターでの広域処理につきましては、現在、氷

川町、八代市、八代生活環境事務組合の3者による協議を実施しておりますが、さらに踏み込んだ協議を重ねてまいりますので、議員各位におかれましては、一緒にご議論いただき、歩調を合わせて進めてまいりたいと考えております。

防災・防犯対策といたしましては、氷川町地域防災計画の全面改訂ならびに地区別防災計画策定のためのモデル地区を指定し計画書策定をめぐります。

防災行政無線のデジタル化に向けた設計業務を行うとともに、新たに整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合消防分署建設基本計画に基づく、鏡消防署氷川分署の建設に向け、実施設計と造成工事を実施します。



▲鏡消防署氷川分署の建設予定地

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制の確立を図ります。

特に、消防団につきましても、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材および施設整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

下水道事業について、竜北地区は、交付金の削減により当初計画より2年延長が見込まれますので、財源の確保に努めるとともに、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入に向け、維持管理計画の策定とともに、関

係機関との協議を進めてまいります。

集落内の道路・河川および排水路につきましては、氷川町道路整備基本計画と地区からの要望との整合性を図りながら、社会資本整備総合交付金などの国・県の事業を積極的に活用しつつ、優先順位を付けて整備を行うこととしています。

また、大野交差点の改良ならびに浜牟田橋下流の河川敷の整備については、熊本県が実施主体となつて事業を進められています。

町が管理する既設の橋梁については、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、優先順位を付けて改良工事を行います。

町内の住宅建築物の安全性の確保と耐震性の向上を図るための住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、戸別住宅耐震診断事業およびアスベスト調査分析事業を継続して取り組みます。

また、公営住宅等長寿命化計画に基づき、桜ヶ丘団地3棟の改修を行います。

定住促進施策の一環として、新規事業で空き家バンクに登録した空き家リフォーム助成、引越し費用および家財撤去費の助成を行うとともに、空き店舗および遊休農地などの情報発信を行い、町外はもとより県外からの移住者の受け入れを行う移住定住促進事業の充実を図ります。



▲空き家バンク制度を活用し定住促進へ

住民自治を支える 行政運営の推進

行政運営には、必要性、計画性、実行性、継続性、創造性が重要と考えます。

第1次氷川町総合振興計画の後期5年の計画と地区別計画ならびに氷川町人口ビジョン、総合戦略を基本に行政運営を進めるとともに、平成30年度以降の第2次氷川町総合振興計画の策定業務に着手します。

町行政のすべての事務事業の評価を行いましたので、評価結果を精査し、今後の効率的な行政運営と適正な人事管理の構築に活用します。

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆さまとの対話と協力が重要であり、これまで町の政懇談会の参加状況を踏まえて、方法を若干変更し、町政懇談会を実施するとともに、情報を共有する必要があり、出来る限りの情報提供に努めてまいります。



▲町政懇談会の様子

堅実な行財政運営を行うためにも、行政改革プランの進捗状況を確認し、漸次必要を見直しを図りつつ、その計画に基づいた改革を確実に実践するとともに、次期計画の策定に向けた取り組みを始めます。

さらに効率のよい機能的な行政組織とするため、今後の公共施設の管理運営計画を策定するとともに、その原動力である役場機構の改革と職員の能力開発にも尽力してまいります。

大空町との友好関係も大切にしてまいりたいと考えておりますので、人材交流および物産の相互交流を活発にし、友好の絆を深めてまいります。

以上、5つのまちづくり戦略を平成28年度の町政運営の基本方針として、安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な氷川町の創造を目指して、全身全霊を傾注して、危機感と緊張感を持って取り組んでまいり、町民各位のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

氷川町長 藤本 一臣

出場おめでとうございます 全国・九州大会出場者激励会

2月9日・24日、役場庁議室において、全国・九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長から出場選手へ激励費が手渡されました。

【大会名】

第34回全国高等学校
アーチエリート選抜大会

【出場選手名(八代清流高校)】

穀田 沙予さん(2年・法道寺)

【大会名】

第36回九州カップ水泳競技大会

【出場チーム】

ミキ21スイミングスクール

【出場選手名(竜北西部小)】

小林 佳紋さん(5年・西網道)

山口 瑠璃さん(5年・若洲)

小林佳澄瑠さん(4年・西網道)



▲左から小林佳紋さん、山口瑠璃さん、小林佳澄瑠さん

【大会名】
第38回全九州高等学校新人
ラグビーフットボール大会

【出場選手名】

九州学院高校

松岡 紘平くん(2年・原田)

高田宗一郎くん(2年・下宮)

松本 龍斗くん(2年・原田)

今田 凌太くん(1年・新村南)

藤本 裕汰くん(1年・新村南)

※松岡くんは主将、松本くんは副主将を務めています。

【大会名】

第36回全九州中学生

バスケットボール春季選手権大会

【出場選手名】

竜北中バスケットボール部

作原 華音さん(上鹿島)他13人



▲竜北中バスケットボール部の皆さん

ひな飾りで春を満喫 ひなまつり展

2月9日から3月27日にかけて、まちづくり酒屋において、恒例のひなまつり展が開催されました。

今年は「手まり」をテーマに、ひな人形の他、まりや細工などを吊るす飾り物「さげもん」など約3千体が並びました。

歴史を感じる江戸時代のひな人形や、色とりどりの手まりなどが、趣向を凝らした飾り付けで来場者の目を楽しませました。

また、期間中は、さげもんの手作り体験講座やお茶とあられによる、おもてなしも行われ、春を感じる華やかなイベントとなりました。



▲きらびやかな飾り物がずらり

生涯学習を深める 公民館大会・人権啓発集会

2月21日、文化センターにおいて、平成27年度水川町公民館大会・人権啓発集会が開催されました。

これは、生涯学習の推進と地域活性化を目指すとともに、人権問題を啓発することを目的としています。

この日は、人権啓発作品表彰に続き、生涯学習活動発表が行われ、下鹿島婦人会の学校との交流活動、スポーツ推進委員協議会のスポーツ推進活動の報告が行われました。

また、くまもと江津湖療育医療センター地域療育相談支援専門員の尾道幸子さんによる、発達障がいの特徴や現状についての講演があり、来場者は熱心に話を聞いていました。



▲活動発表する下鹿島婦人会の永田美智子さん

祝100歳 氷川町長寿表彰

2月23日・3月7日、100歳を迎えられた2人に長寿のお祝いとして、お祝い状と花束が手渡されました。お二人ともこれからも、ますますお元氣にお過ごしください。

【八木田ハツコさん(2月23日生まれ)】
ハツコさんは、八代市千丁町の老人福祉施設希望で元氣に過ごされています。

90歳を過ぎても農作業をされるなど仕事熱心な人でお酒が好きで、以前はマムシ酒をつくって飲まれていたそうです。
写真撮影では、家族の皆さんに囲まれ、笑顔を見せられました。



▲八木田ハツコさん(前列左から2人目)

【永田ミツミさん(3月5日生まれ)】
ミツミさんは、八代市鏡町の老人ホーム御倉で元氣に過ごされています。

婦人会の役員をされるなど責任感が強い人で、7人の子どものさんを育てられ、お孫さんなど多くの家族に恵まれています。
花が好きとのこと、花束が贈られると笑顔で受け取られました。



▲永田ミツミさん(前列中央)

天井画色鮮やかに 高校生が薬師堂の天井画を製作

八代工業高校インテリア科の生徒5人が法道寺地区薬師堂の天井画を製作しました。

同校では課題研究授業の一環で、神社などの天井画製作を行っており、法道寺地区が薬師堂の天井修復の実施に伴い、依頼したものです。

天井画は杉製の板に、日本画で用いられる水干絵具で一つ一つ描いた花が描かれており、その数は40枚におよびます。昨年5月から製作を始め、放課後や休日にも作業を進め完成。2月19日に法道寺地区へ渡されました。

天井にはめ込まれた姿を見た生徒の皆さんは「感動しました」とうれしそうに話されました。



▲色鮮やかに生まれ変わりました

ひかわっ子元氣に活動 氷川町子ども会大会

2月28日、文化センターにおいて、第11回氷川町子ども会大会が開催されました。

開会行事では、今年度に他の模範となる活動を実施した西上宮・宮園・立神・新村子ども会が表彰され、事例発表が行われました。

続く立神地区の火之国屋による忍者体験ショーでは、3人の忍者によるデモンストラクションが行われた後、子どもたちも一緒に忍者チャンバラ体験をし、大いに盛り上がりました。

また、KYT(危険予知訓練)講習やジュニアリーダーによるレクリエーションなども行われ、楽しい一日となりました。



▲忍者チャンバラ体験で大盛り上がり

地域宮農で農業振興を目指す

吉野・野津に農事組合法人設立

3月2日に農事組合法人「アグリ吉野」、3月7日に同法人「野津南」の設立総会が開催されました。

これは、組合員の農地を集約し、農業施設・機械の共同利用、農作業の受託などにより、農作業の効率化、農業経営安定などを目指すもので、本町では初めての設立となります。

J A やつしろひかわ管農センターで開催されたアグリ吉野の設立総会では、組合員24人をはじめ、関係者約40人が出席。本田隆雄代表理事（高塚）は「吉野地区の豊富な農産物を活用した事業を展開し、地域農業の発展・振興に寄与したい」とあいさつされました。



▲「アグリ吉野」組合員の皆さん

空手少年が健闘

空手競技で3位入賞

3月6日、益城町総合体育館において、第8回菅原会館九州地区少年部SABA K I T O ナメント大会が開催され、型競技の部（3・4年生）で竹山尚杜くん（宮原小4年・新村南）、組手競技の部（1・2年）で奥村隆斗くん（宮原小2年・桜ヶ丘）がそれぞれ3位の成績を収めました。

【入賞者のコメント】
奥村隆斗くん「今回は2回目の出場で、トロフィーが欲しかったので頑張りました。次は優勝を取るために、もっと頑張りたいです」

竹山尚杜くん「家でもたくさん稽古したので3位に入れてうれしかったです。今度は組手でも勝ちたいです」



▲竹山尚杜くん(左)、奥村隆斗くん(右)

和鹿島いちごを味わって

町内小中学校にイチゴ贈呈

3月11日、八代地域農業協同組合和鹿島いちご部会から町内小中学校にイチゴ2320個が贈呈されました。

これは、同部会が子どもたちに地元特産の「和鹿島いちご」に親しんでもらおうと、毎年行っているもので、役場庁議室で行われた贈呈式では、前田洋志部会長（中網道）から藤本町長に、真っ赤に色付いたイチゴが手渡されました。

今年のイチゴは糖度も高く、良質な出来となっているそうで、前田部会長は「おいしいイチゴを子どもたちに届けることができました。地元の味覚を知って欲しい」と話されました。



▲おいしいイチゴを子どもたちへ

義務教育終え新たな道へ

町内中学校で卒業式

3月11日、町内中学校において、卒業証書授与式が行われました。

氷川中学校では、保護者や在校生が見守る中、卒業生一人一人に中島校長から、義務教育修了の証である卒業証書が手渡されました。

続けて「町の人たちの愛情、そして、自分たちが持てる全てのを、皆さんの成長のために捧げてこられたご家族の慈しみに気付いてほしい。今度は、これから皆さんが出会う人たちに愛情と慈しみを与えられる人になってください」とはなむけの言葉が贈られ、たくましく成長した卒業生たちは、思い出が残る学び舎を巣立って行きました。



▲恩師の見守る中、卒業証書を授与

大人も子どももあいさつを交わす町 「あいさつができる氷川っ子」を育てるために 毎月15日は「あいさつ運動」一斉行動の日

氷川町では、全学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度を設けた学校）に指定しており、地域と学校が連携・協働して子どもたちを見守り・育てる「地域とともにある学校づくり」を目指しています。

その一環として、平成26年10月より、両中学校区で子どもたちが安心して暮らせる明るい町づくりを目的とした「あいさつ運動」に取り組んでまいりました。

あいさつ運動の さらなる充実を目指して

この取り組みをさらに充実させ「人と人をつなぐ、あいさつができる 氷川っ子」を育てるため、4月から毎月15日（休日の場合はその直前の登校日）を「あいさつ運動一斉行動の日」とし、学校・家庭・地域・行政が一体となった取り組みを推進していくことになりました。

町を挙げてのあいさつ 運動を協力要請しました

3月14日、藤本町長に対し、全学校の学校運営協議会長・町PTA連絡協議会会長・町校長会長・教育長はじめ教育委員会職員により、町を挙げてのあいさつ運動への協力要請を行いました。

この運動の趣旨を伝えるとともに意見を交換し、藤本町長は「とても良い取り組みだと思います。『人に出会ったらきちんとあいさつを交わす』ことは基本的なこと。地域と行政が一体となって、この取り組みを進めて行きましょう」と述べました。

また、3月23日には、区長会議にて時間を頂き、各地区の区長へ取り組みのお願いをさせていただきました。

あいさつは人と人をつなぎます。地域ぐるみで子どもたちを見守る環境をつくりましょう。



学校・家庭・地域・行政 総ぐるみのあいさつ運動にご協力を! 通学路に出て登校する子どもたちに 声掛けをお願いします

毎月15日 7時30分～8時
(15日が土日・祝日の場合は直前の登校日)

登校時に難しい場合は下校の時間帯でも結構です。

みんながあいさつを交わすまち

子どもたちの見守りを地域全体で行うまち

子どもたちが安心して暮らせるまち をつくりましょう。

おはようございます

気を付けて

いってらっしゃい

おかえりなさい



みんな頑張りました! 校内持久走大会

たくさんの応援の中、校内持久走大会を開催しました。児童は大会に向け、それぞれ目標タイムを設定して練習に取り組みました。氷川町公民館駐車場をスタート・ゴールにして、公民館周辺の道路で何回も練習しました。練習中は、保護者や地域の皆さまがコースに立って、安全のための見守りをいただきました。大会当日は天気にも恵まれ、保護者や児童の大きな声援の中、一生懸命走る児童の姿が印象的でした。



わくわくふれあいフェスタin宮原小

恒例の「わくわくふれあいフェスタ in 宮原小」を開催しました。午前中は学級ごとに学習成果の発表を行い、午後は地域にお住まいの皆さんを講師にした親子体験活動を実施しました。宮原小校区には、いろいろな技術をお持ちの人がたくさんいらっしゃることを実感しました。地域や保護者の皆さまと共に有意義な一日を過ごすことができました。



ぐるぐる棒まきパン作り

彦一ごま作り

陶芸体験



手前味噌づくり

ぎんなんうきでストラップ

手作りおやつ作り



さおり織でアート

薩摩街道沿いウォークラリー



「人権の花」運動のイベント集会

春の種まきから育ててきた、人権の花(マリーゴールド)からとった種を、優しい心や人権を大切にしたい心が広がるよう、メッセージを書いた袋に詰めて、紙風船で飛ばすイベントを12月に行いました。

赤や青など色とりどりの風船は、青空に舞い上がると南東の方向へ飛んでいきました。その日の夕方に宮崎県の都城市から、次の日以降は、えびの市や日南市などから「花の種とメッセージを拾いました」とのお便りがありました。



「未来の学校創造プロジェクト」研究推進校としての取り組み

熊本県教育委員会から、ICTを活用した「未来の学校」創造プロジェクト研究推進校の指定を受け、タブレットパソコンや電子黒板などのICT機器を活用した授業を通して、児童の学力向上に取り組んでいます。





毎月11日は人権を確かめあう日です

2016



まちへのホットライン

氷川町役場

総務課	総	52-7111
企画財政課	企財	52-5850
町民環境課	町環	52-5851
健康福祉課	健	52-5852
健康センター	健	52-7154
税務課	税	52-5853
農業振興課	農振	52-5854
農地整備課	農整	52-5855
建設下水道課 建設係	建	52-5856
下水道係	下	52-5862
出納室	出	52-5857
議会事務局	議	52-5858
農業委員会	農委	52-5861

宮原振興局

総務振興課	総振	62-2311
まちづくり推進係	ま	62-2317
商工観光課	商	62-2315

教育委員会

学校教育課	学	62-3313
生涯学習課	生	52-5860
学校給食共同調理場	給	52-6202

社会福祉協議会

氷川町社会福祉協議会	社協	52-5075
竜北福祉センター		52-5121
地域包括支援センター		62-3456
宮原福祉センター		62-3456

※休日在宅医院は先生方の都合により変更になる場合があります。確認をお願いします。

八代郡医師会 ☎52-2233

日曜日 Sun	月曜日 Mon	火曜日 Tue																						
<p>氷川町の火災・救急件数 (H28年1月からの累計)</p> <table border="1"> <tr><td>2月29日現在</td><td>火災</td><td>救急</td></tr> <tr><td>氷川町</td><td>0</td><td>115</td></tr> </table> <p>熊本県内の交通事故件数・死傷者数 (H28年1月からの累計)</p> <table border="1"> <tr><td>3月21日現在</td><td>件数</td><td>死者</td><td>傷者</td></tr> <tr><td>熊本県下</td><td>1,196</td><td>21</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>氷川署管内</td><td>17</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>氷川町</td><td>12</td><td>0</td><td>13</td></tr> </table>	2月29日現在	火災	救急	氷川町	0	115	3月21日現在	件数	死者	傷者	熊本県下	1,196	21	1,500	氷川署管内	17	0	19	氷川町	12	0	13	<p>小児救急電話相談 ～おさまが急病のとき～</p> <p>夜間におけるおさまの急な発熱、嘔吐、下痢、腹痛などの応急措置を相談できる窓口です。経験豊かな看護師がアドバイスします。</p> <p>相談時間 毎日19時～24時 電話番号 ☎#8000 (ダイヤル回線は使用不可) ☎096-364-9999</p>	
2月29日現在	火災	救急																						
氷川町	0	115																						
3月21日現在	件数	死者	傷者																					
熊本県下	1,196	21	1,500																					
氷川署管内	17	0	19																					
氷川町	12	0	13																					
<p>3</p> <p>●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 よかと整形外科 リウマチクリニック 外科系 ☎46-8110 前田内科医院 内科系 ☎52-1310</p>	<p>4</p> <p>◆母子健康手帳交付 健 8:30～12:00 健康センター ◆健康相談日 健 8:30～12:00 健康センター ●休館日 竜北福祉センター</p>	<p>5</p>																						
<p>10</p> <p>●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 荒木皮ふ科医院 外科系 ☎52-8777 尾田内科医院 内科系 ☎52-8011</p>	<p>11 「人権を確かめあう日」</p> <p>◆母子健康手帳交付 健 8:30～12:00 健康センター ◆健康相談日 健 8:30～12:00 健康センター ◆町内小学校入学式 学 10:00～ ●休館日 竜北福祉センター</p>	<p>12</p> <p>◆3歳児健診(H25.2～3月生) 健 1歳児健診(H27.4月生) 健 12:30～ 健康センター</p>																						
<p>17 ◆第11回九州ヘラブナ釣り大会in氷川 商 6:30～ 不知火干拓貯水池 ◆資源ごみ分別収集 町環 ●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 井上医院 外科系 ☎65-2121 松本医院 内科系 ☎52-0330</p>	<p>18</p> <p>◆母子健康手帳交付 健 8:30～12:00 健康センター ◆健康相談日 健 8:30～12:00 健康センター ●休館日 竜北福祉センター</p>	<p>19</p> <p>◆戦没者追悼式 健 10:00～ 氷川町公民館</p>																						
<p>24</p> <p>●休館日 宮原福祉センター ◎休日在宅医院 松村眼科医院 外科系 ☎52-0131 伊藤医院 内科系 ☎52-8091</p>	<p>25</p> <p>◆母子健康手帳交付 健 8:30～12:00 健康センター ◆健康相談日 健 8:30～12:00 健康センター ◆メンタルヘルス相談日(要予約) 健 14:00～17:00 健康センター ◆下水道使用料ほか口座振替日 出 ◆社協心配ごと相談・法律相談(要予約) 社協 13:30～16:00 竜北福祉センター ●休館日 竜北福祉センター</p>	<p>26</p> <p>◆4カ月児健診(H27.12月生) 7カ月児健診(H27.9月生) 健 12:30～ 健康センター</p>																						

毎月15日は氷川町交通安全の日です

水曜日 Wen	木曜日 Thu	金曜日 Fri	土曜日 Sat
<p>休日救急歯科診療 ～急な歯の痛みに～</p> <p>日曜日、祝祭日に急な歯や歯肉の痛み、事故などにおける外傷の処置、そのほか、緊急時の歯科治療を行います。</p> <p>〈場所〉 八代歯科医師会口腔保健センター 八代市上野町折口3591-14 (診療時間)10時～16時 問 ☎31-8020</p>		<p>1</p>	<p>2</p>
<p>6</p>	<p>7</p>	<p>8</p> <p>◆町内小・中学校始業式 学 ◆町内中学校入学式 学 14:00～</p>	<p>9</p>
<p>13</p>	<p>14</p> <p>◆歯のピカピカ教室 (H26.1～4月生) 健 13:00～ 健康センター</p>	<p>15 「氷川町交通安全の日」</p> <p>◆行政相談 総 10:00～15:00 健康センター ◆あいさつ運動一斉行動の日 学 ◆農振個別見直し申出締切 農委</p>	<p>16</p>
<p>20</p>	<p>21</p>	<p>22</p>	<p>23</p>
<p>27</p>	<p>28</p>	<p>29 「昭和の日」</p> <p>◎休日在宅医院 福田外科・整形外科クリニック 外科系 ☎52-0840 名和小児クリニック 内科系 ☎52-7800</p>	<p>30</p>

ごみの減量化にご協力ください。